



卒業献血が行われました



期末テストも終わって師走を目前に控えた11月27日(水)、3年生の卒業献血が行われました。献血は病気の治療や手術などで輸

血を必要としている患者さんのために、健康な人が自らの血液を無償で提供する、誰でもできるボランティアです。

昨年度までは午後のみの実施だったため時間の関係で希望者全員行うことができなかったことから、今年は授業並行で朝から実施したところ、去年の46名の倍近い、89名が献血することができました。

科学技術が進んだ現代でも、血液だけは人工的に作り出せず、献血の協力がなければ命を救うことができません。若い時に献血の経験があると、生涯献血率が向上するというデータもあります。

沖縄県赤十字血液センターの皆さま始め、担当した三学年主任の儀間先生ありがとうございました。



クッキング部が快挙!



クッキング部が快挙です。11月3日(日)に東京で開催された「第13回ご当地!絶品うまいもん甲子園」決勝大会で幸地向日葵さん(石田中)と上原千和さん(浦添中)の「心と体の命薬(ぬちぐすい)キッシュ」が「大臣官房長賞」(準優勝)に輝きました。また12月1日(日)に神奈川県で行われた「第12回ジュニア料理選手権」最終選考会でも、大地明花さん(松城中)と喜納梨々香さん(南風原中)の「県産食材たっぷりうちなすタコス」が準グランプリを獲得しました。

両グループとも、車麩とゴーヤーといった沖縄県産の食材を新たな発想でアレンジしたレシピで、専門高校を凌ぎ見事上位入賞を果たしました。普段の探究的活動の中で育まれた首里高生の素晴らしさに拍手を送ると共に、ご指導なさった家庭科の川満先生、関係者の皆さまに深く感謝申し上げます。



進路内定者集会が開催されました



また生徒指導部主任の仲田先生、3学年担当の濱川先生、進路指導部主任の西村先生からも、それぞれ注意事項や心構えについてのお話がありました。担当の池田先生、実施に向けた調整と呼びかけありがとうございました。

3年生の約25%に当たる95名(国公立17名、私立58名、専門18名、就職2名)が、12月4日時点で既に進路が内定していることを受けて、「合格内定者の集い」が12月9日(月)に行われました。集会では、校長先生より、来月に控えた共通テストに本校から8割を超す320名の生徒が受験することから、進路内定者が応援する雰囲気づくりのお願いと、進学後に向けてこの時期を利用して学びを進めることの大切さ、基本的生活習慣の維持と生徒指導事案があったときの説明がありました。

令和6年度性・エイズ講演会



毎年12月1日の「世界エイズデー」の時期に、エイズのまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を目的に、各地で様々な啓発活動が行われています。首里高校でも12月4日(水)に、助産師の菊谷愛子先生をお迎えし、「安心安全で幸せに生きるために」として、性・エイズを始め、デートDVやLGBTQ、女性の月経など様々な内容でご講演いただきました。

講演会を通して、正しい性の知識を学び、自他を尊重し、充実した高校生活を送ることで、自己実現・夢実現に繋げて行って欲しいと思います。

講師の菊谷愛子先生に感謝申し上げますとともに、司会の助川芽愛さん(松島中)、安仁屋葉乙さん(与那原中)、お礼の言葉を行ってくれた喜屋武希風さん(西原東中)、上原百花さん(首里中)ら1年生の保健委員の皆さん、ありがとうございました。

